

'08-10^月改訂

施工説明書

YKK
ap[®]

スクリーンパーティション 折戸タイプ








- 戸先緩衝材を2K-27558に変更しました。
 - 下レールストッパーを追加しました。
- (→P.4,9,14,17,19,20参照)

本説明書は専門知識を有する業者様向けの内容となっております。
誤った方法で作業を行うと、不具合につながるおそれがあります。
作業には危険が伴いますので、専門知識を有する業者様が行ってください。

'13-9 月 発行

目 次

	■ 施工の前に	2
	■ 開口部の確認	2
	■ 同梱部材・部品一覧	3・4
	■ 施工フロー	5
	■ 扉の向きを確認	5
	■ 躯体の確認	6
	■ 上枠アタッチメントの取付部の確認	6
	■ たて枠の取付部の確認	7・8
	■ アルミたて枠の取付	9
	■ 上枠アタッチメントの取付	10
	■ 上レールの取付	11・12
	■ 下レールの取付	13・14
	■ 折戸本体の吊込み	15~17
	■ 折戸本体の調整	17
	■ 折戸本体の取りはずし	18
	■ スペーサーガイドの固定	18
	■ 納まり参考図	19・20

チェックシート

組立・取付時、本文中に表示している「**チェックマーク** 

	項 目	ページ	チェック欄
①	上レール取付ねじは、本締めしましたか？	12	
②	扉の開閉に支障はありませんか？ 戸先緩衝材の取付け方向を確認しましたか？	15	
③	扉と扉、扉と枠のチリは適切ですか？ 必要に応じ、吊車の調整を行ってください。	17	

■施工の前に

このたびは、YKK AP 商品をご採用いただき誠にありがとうございます。

施工の前に…

商品を正しく施工していただくために、説明書の内容をご確認ください。
商品の施工については必ず本説明書に従ってください。

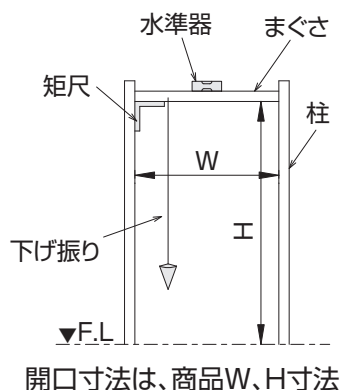
施工の後に…

取扱説明書・使い方&お手入れガイドブックを施主様にお渡しください。

お願い

- 開梱後、商品に損傷がないか必ず確認してください。
- 商品の保管は、湿気や直射日光のあたる場所を避けてください。
- ひっかけ傷、打痕をつけないよう十分に気をつけてください。
- 本体に粘着力の強いテープ等を貼らないでください。
- 取付開口部の水平・垂直、対角寸法およびねじれのないことをご確認ください。
取付開口部の精度が悪いと商品本来の機能を発揮できず、家屋の損害の原因になります。
- 施工の際は、床・壁等の破損や汚れに十分に注意して、保護シート等の配慮を行ってください。
- 施工は、2人以上で行ってください。
- 部品(ねじ等)は定められたものを使用してください。
- ねじの締め付けは、クラッチ付きのドライバーを使用してください。
トルクが強すぎる場合、部材の変形、ねじが空回り・頭飛び・つぶれる可能性があります。
- むやみに改造や変更はしないでください。
- 施工完了後、説明書の方法通り、調整が行われていることを確認してください。
調整不良は操作不良や異常音の原因になります。
- 施工完了後は、清掃を行い、ゴミ、異物、汚れがないことを確認してください。

■開口部の確認



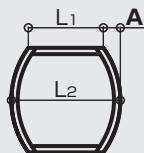
建具取付精度

建具枠取付精度が下記寸法以下になっているか確認し調整してください。

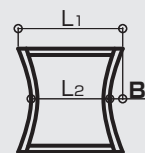
下記寸法を超えると外観上のチリ寸法不一致、明かり漏れ、開閉・走行の不具合など商品本来の性能が発揮されません。

単位：mm

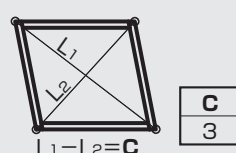
●建具枠のソリ (フクレ)



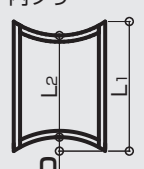
●建具枠のソリ (ツツミ)



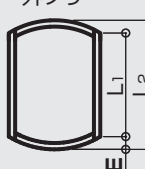
●建具枠の対角差



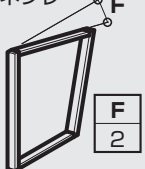
●建具上下枠の内ソリ



●建具上下枠の外ソリ



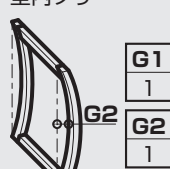
●建具枠のネジレ



●建具枠の室外ソリ



●建具枠の室内ソリ



室外

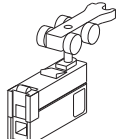
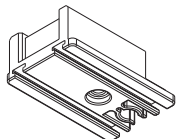
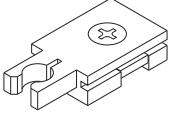
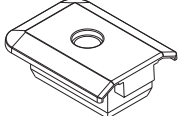

室内

3 同梱部材・部品一覧

■同梱部材・部品一覧


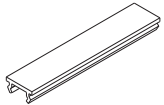
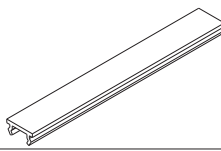
表を参照のうえ、部材・部品の有無をご確認ください。

姿 図							
品 名	上枠アタッチメント	上レール	カバー	下枠	下レール	たて枠アタッチメント	たて枠
品 番	-	-	-	-	-	-	-
加配アイテム	AYF-W-###-1G-L(R)	1	1	1	1	-	-
	AYF-W-###-2G	1	1	1	1	-	-
	AYF-W-###-3G	1	1	1	1	-	-
	AYF-W-###-4G	1	1	1	1	-	-
	AYF-W-###-5G	1	1	1	1	-	-
	AYF-W-###-1F-L(R)	1	1	1	1	1	1
	AYF-W-###-2F	1	1	1	1	1	1
	AYF-W-###-3F	1	1	1	1	1	1
	AYF-W-###-4F	1	1	1	1	1	1
	AYF-W-###-5F	1	1	1	1	1	1

姿 図					
品 名	吊車	上キャッチ	スペーサーガイド	下レール端部キャップ	ねじ穴隠し
品 番	4K-18449	2K-34939	4K-18200	2K-35087	K-38558
加配アイテム	AYF-W-###-1G-L(R)	2	1	2	2
	AYF-W-###-2G	4	2	4	2
	AYF-W-###-3G	6	2	6	2
	AYF-W-###-4G	8	2	8	2
	AYF-W-###-5G	10	2	10	2
	AYF-W-###-1F-L(R)	2	1	2	2
	AYF-W-###-2F	4	2	4	2
	AYF-W-###-3F	6	2	6	2
	AYF-W-###-4F	8	2	8	2
	AYF-W-###-5F	10	2	10	2
備 考					

姿 図					
品 名	戸先緩衝材	丸木ねじ (φ5.1×70)	丸木ねじ (φ3.5×40)	薄バインド木ねじ (φ3.8×20)	丸木ねじ (φ3.1×20)
品 番	2K-27558	WR-5170D9	WR-3540	WS-3820	WR-3120
加配アイテム	AYF-W-###-1G-L(R)	-	2~4	3	2
	AYF-W-###-2G	-	4~6	3	2
	AYF-W-###-3G	-	6~8	3~5	2
	AYF-W-###-4G	-	6~12	5	2
	AYF-W-###-5G	-	8~14	5	2
	AYF-W-###-1F-L(R)	2	2~4	3	2
	AYF-W-###-2F	2	4~6	3	2
	AYF-W-###-3F	2	6~8	3~5	2
	AYF-W-###-4F	2	6~12	5	2
	AYF-W-###-5F	2	8~14	5	2
備 考		上レール取付用	上枠アタッチメント・上キャッチ取付用	下枠取付用	下レール端部キャップ取付用

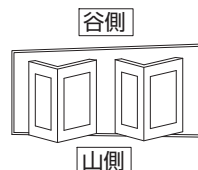
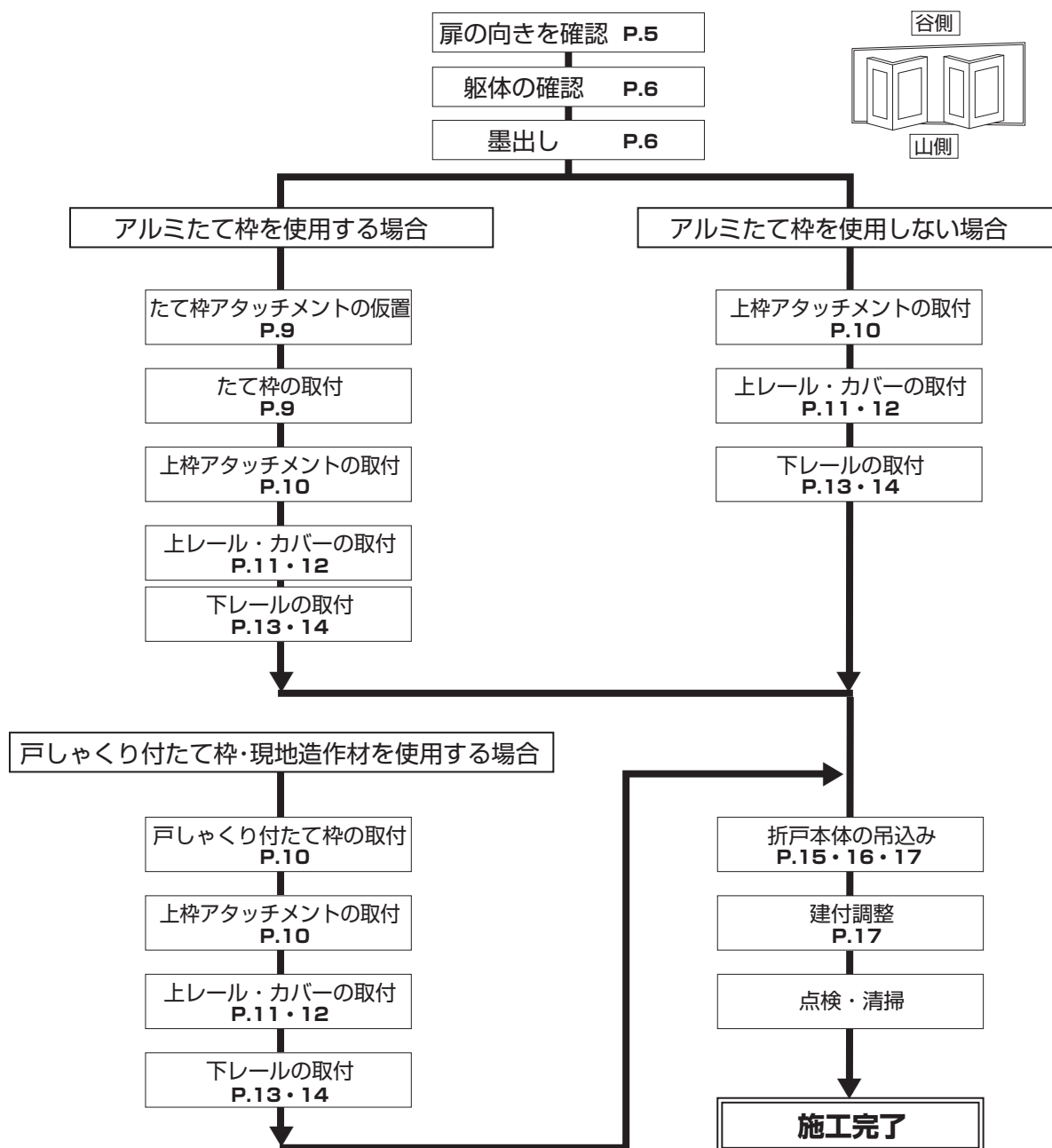
姿 図		 		
品 名	丸木ねじ ($\phi 3.5 \times 40$)	下レールストッパー (L=11) (L=13.5)		
品 番	WR-3540	2K-27206		
加 記 ミ シ ヨ	AZF-W-###-1G-L(R)	-	2	-
	AZF-W-###-2G	-	2	-
	AZF-W-###-3G	-	2	-
	AZF-W-###-4G	-	2	-
	AZF-W-###-5G	-	2	-
	AZF-W-###-1F-L(R)	8~16	-	2
	AZF-W-###-2F	8~16	-	2
	AZF-W-###-3F	8~16	-	2
	AZF-W-###-4F	8~16	-	2
	AZF-W-###-5F	8~16	-	2
備 考	たて枠取付用			

姿 図				
品 名	スペーサーブロック (L=40)	スペーサーブロック (L=80)	スペーサーブロック (L=120)	
品 番	2K-27206	2K-27206	2K-27206	
障 子 の 戸 幅	476 \leq DW \leq 522	1	-	-
	522<DW \leq 752	-	1	-
	752<DW \leq 996	-	-	1
備 考	下レール取付用 障子に同梱	下レール取付用 障子に同梱	下レール取付用 障子に同梱	

5 施工フロー / 扉の向きを確認

■ 施工フロー

本商品は、アルミたて枠使用の有無によって、各部材の取付ける順序が異なります。施工する商品を確認のうえ、下記のフローを参考に**取付順序**および**ページ**を参照してください。



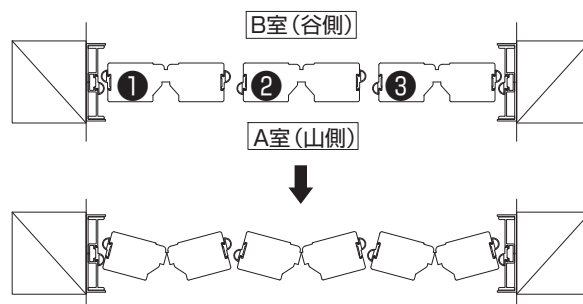
■ 扉の向きを確認

右図は、A室側へ折れる納まりを示しています。この場合の扉の配置は、図のようになります。(扉①と扉②③は、戸先緩衝材の向きが違います。) たて枠の戸先緩衝材は扉の戸先緩衝材とぶつからないよう取付け向きに注意が必要です。

お願い

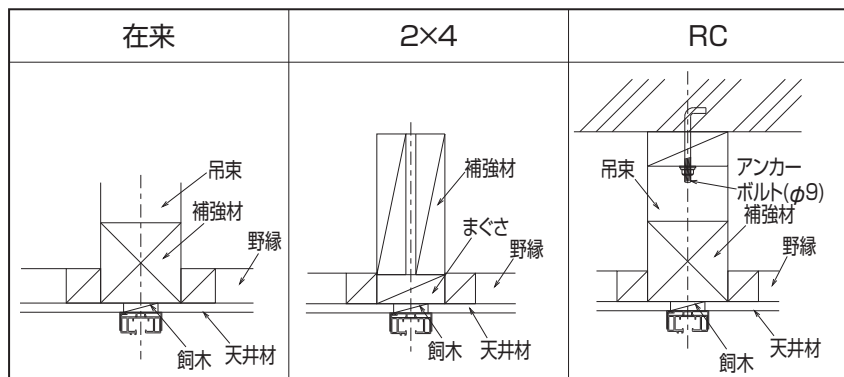
ビルダー様(監督)から部屋の間取りと、扉の取付け向きを(折れる向き)を確認してください。

3枚折戸のパターン



■ 躯体の確認

取付け位置の補強状態を確認してください。



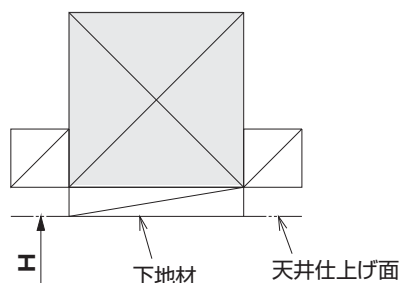
お願い

- 上吊タイプでは、障子の重量でまぐさ・天井が垂れ下がらないように配慮が必要です。
- 障子重量は1枚辺り15～30kg程になりますので、必ず構造計算を行い、取付躯体に十分な強度を持たせてください。
- 補強の無い状態での取付(野縁への取付)は絶対にしないでください。

■ 上枠アタッチメントの取付部の確認

① 下地材の確認

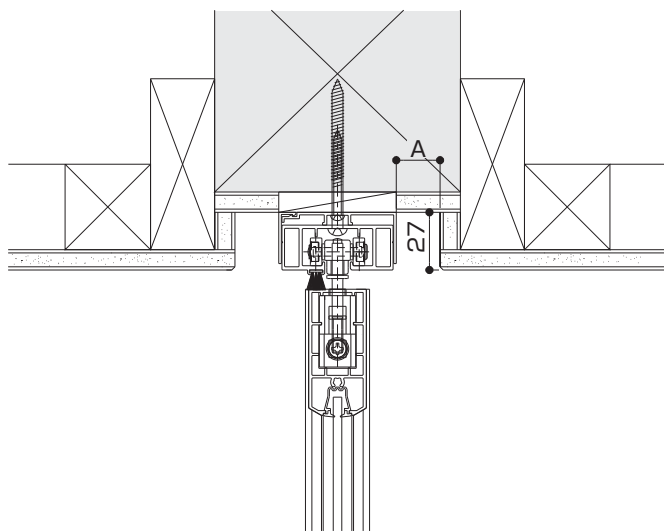
天井仕上げ面に合わせ、アタッチメント取付部に下地材を入れてください。



ポイント

Hの押さえに注意してください
F.Lからアタッチメントが取付く面までがHとなります。

● 上レールを天井に埋め込んで納める場合



お願い

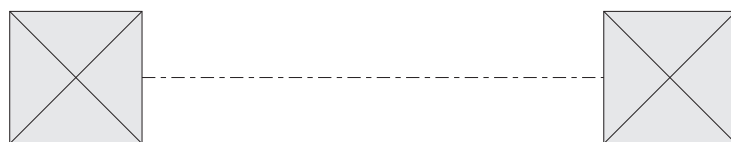
上レールを天井に埋め込んで納める場合、アタッチメント上部から天井面までの寸法を**27mm以下**としてください。
引戸が吊込みできないおそれがあります。

ポイント

カバーの取付について
A寸法が**10mm以下**の場合は、アタッチメントのカバー(P.12参照)を取付けることができませんが、商品の機能上は問題ありません。

② 墨出し

アタッチメント取付のため、通りを墨出ししてください。



7 たて枠の取付部の確認

■ たて枠の取付部の確認

壁面の処理の確認(幅木がまわる場合)

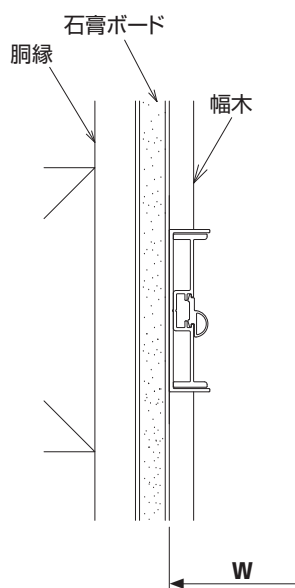
幅木がまわる場合は、たての見切り材が必要になります。
必ずたて枠が固定できる柱がある位置に施工してください。
壁内に柱がない場合は、壁仕上面に合せて下地材を入れてください。

ポイント

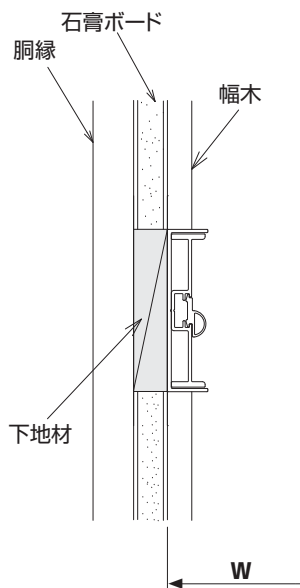
たて材は、上中下を測定し、平行に取り付けてください。また、たて材は、反り・膨れの無いように施工してください。すき間ができる場合があります。

アルミたて枠

● 壁内に柱がある場合

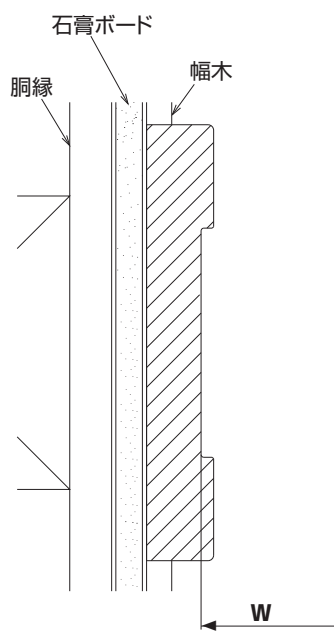


● 壁内に柱がない場合

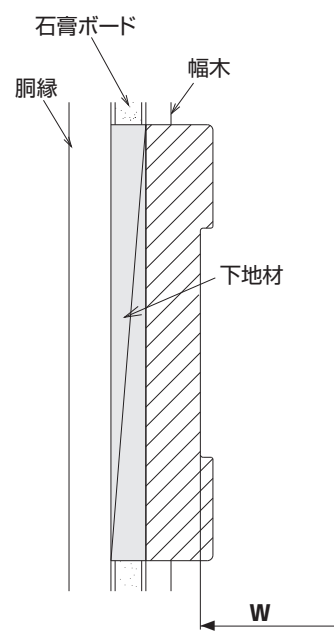


戸しゃくり付たて枠

● 壁内に柱がある場合

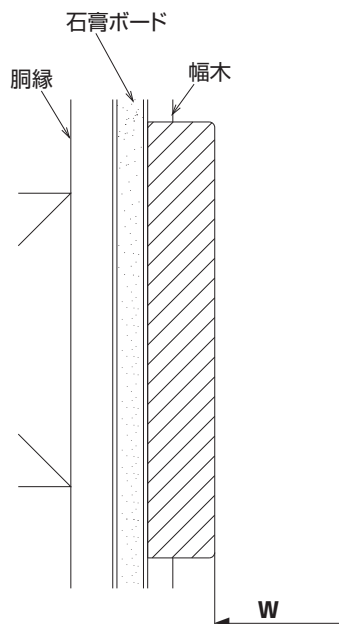


● 壁内に柱がない場合

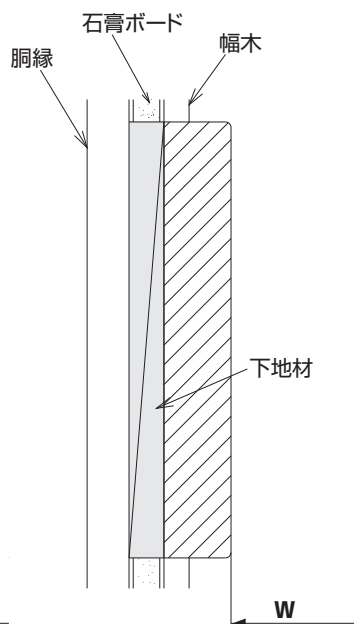


現地造作材

● 壁内に柱がある場合



● 壁内に柱がない場合



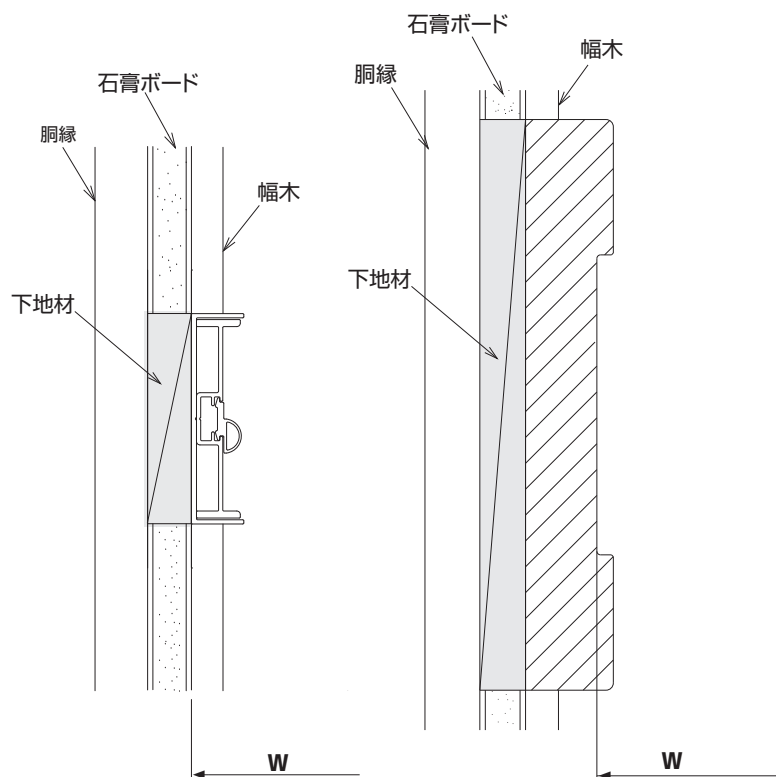
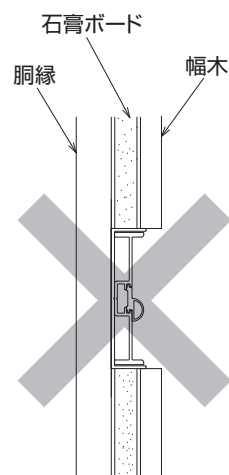
■アルミたて枠・戸しゃくり付たて枠の壁面処理

アルミたて枠・戸しゃくり付たて枠を取付ける場合は、必ず壁仕上面にたて枠が合うように下地材を入れてください。

ポイント

幅木を施工される場合は、直接胴縁に取付けないでください。

W寸法押えがズレたり、幅木の小口が露出したりします。

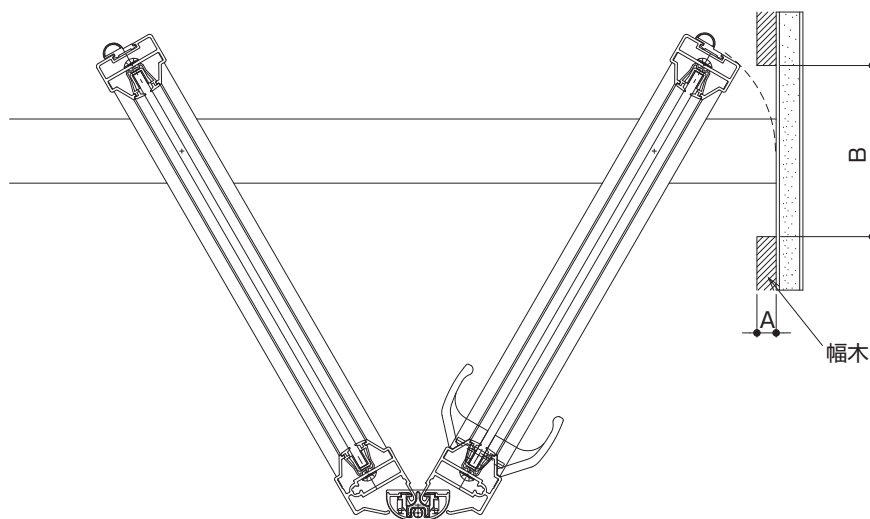


■幅木が施工されていて、たて枠なしで納める場合

折戸の戸先の回転軸跡と干渉しない位置で幅木を切欠く必要があります。

※たて枠なし仕様とアルミ四方枠仕様は戸幅が違います。

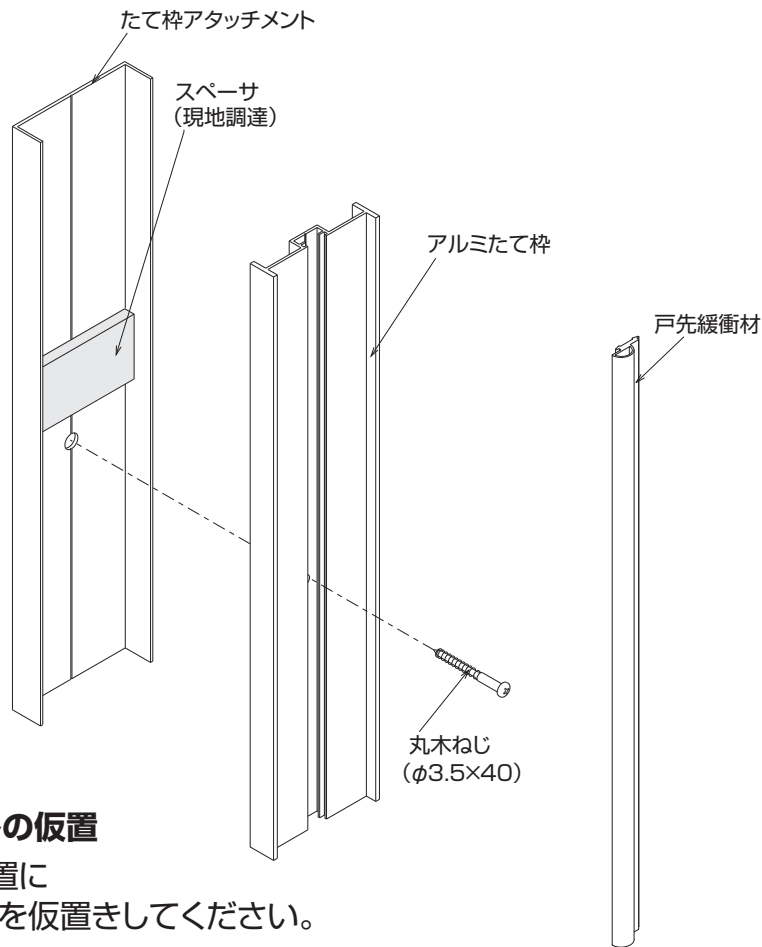
アルミたて枠は後付けできませんので、ご注意ください。



幅木厚：A	幅木切欠寸法：B
4	70
9	80
12	90

9 アルミたて枠の取付

■ アルミたて枠の取付



① たて枠アタッチメントの仮置

アルミたて枠取付位置にたて枠アタッチメントを仮置きしてください。

② アルミたて枠の取付

たて枠アタッチメントにアルミたて枠をはめ込み、ねじで固定してください。

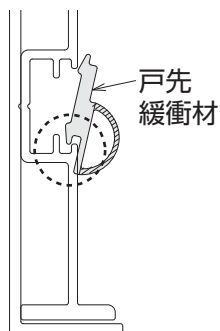
ポイント

- 固定用ねじは、必ず下地材に固定してください。
- 取付の際、垂直を確認し、垂直になってない場合は、スペーサ等で調整しながら固定してください。

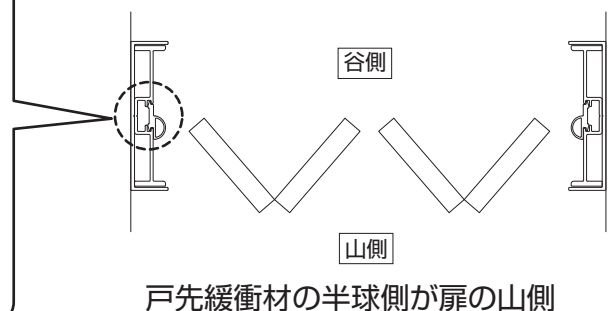
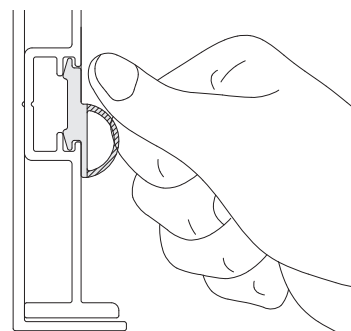
③ 戸先緩衝材の取付

アルミたて枠の溝に、向きに注意して戸先緩衝材を取付けてください。

① 半球側を先に入れる



② 指でなぞりながら押込む

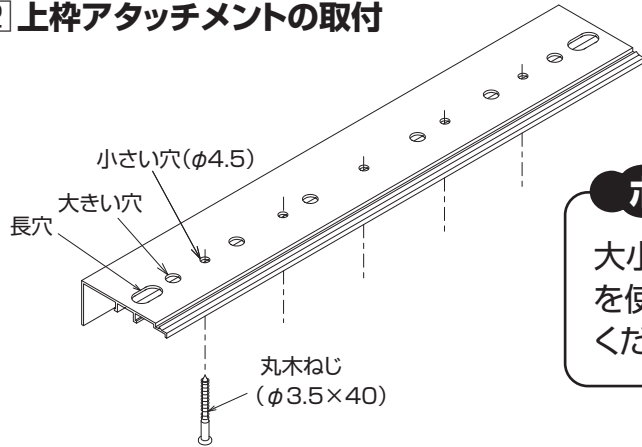


■上枠アタッチメントの取付

① 上枠アタッチメントの確認

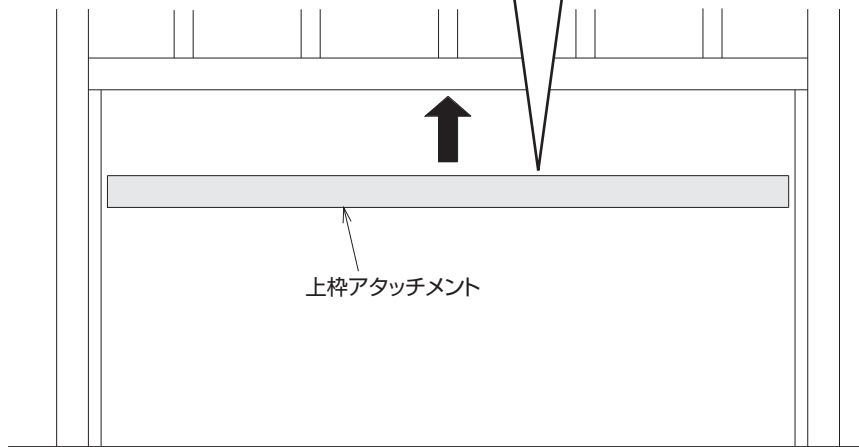
上枠アタッチメントを床に置き、方向を確認してください。

② 上枠アタッチメントの取付



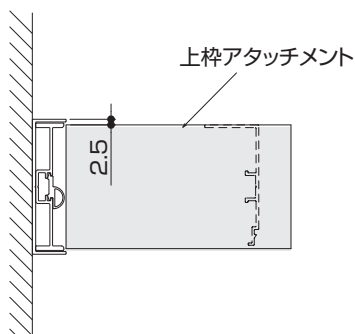
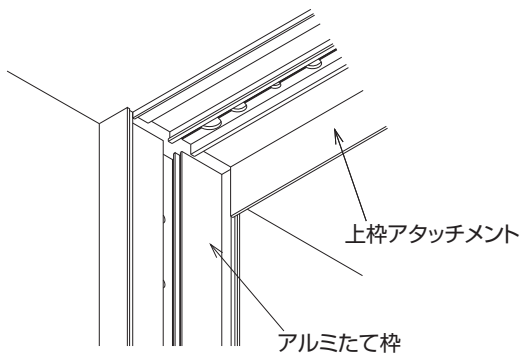
ポイント

大小の穴のうち、小さい穴を使用してねじで固定してください。

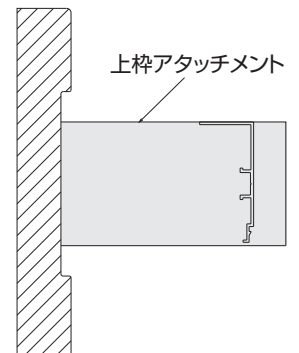
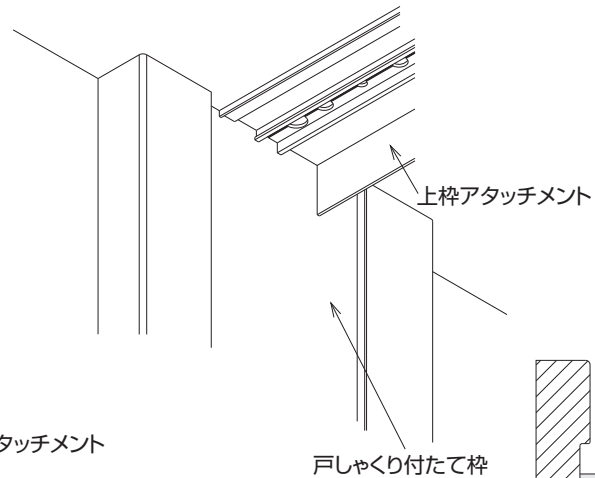


アルミたて枠・戸しゃくり付たて枠を使用する場合

■アルミたて枠使用の場合



■戸しゃくり付たて枠使用の場合



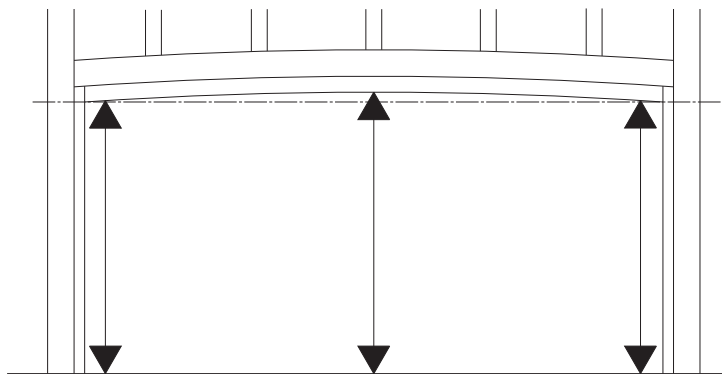
11 上レールの取付

■上レールの取付

① **上枠アタッチメントの測定**
上枠アタッチメント取付後、端部・中間部のアタッチメントと床面の高さを測ってください。

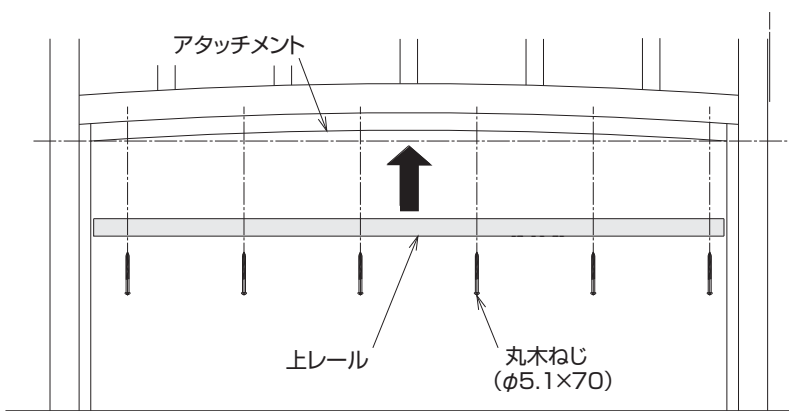
② **基準レベル**
測定した**一番低い箇所**を基準として水平レベルを出してください。

③ **上レールの固定**
②で出した基準・水平レベルに合わせて、上レールを固定してください。



ポイント

吊車・上レール内に挿入されていることを確認してください。
1枚折れの場合、左勝手と右勝手があります。必ず、レールの向きを確認してください。

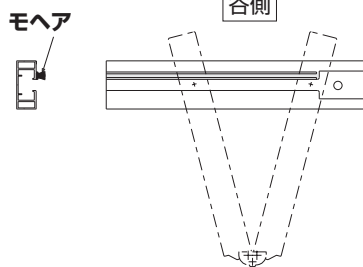


レールの向き

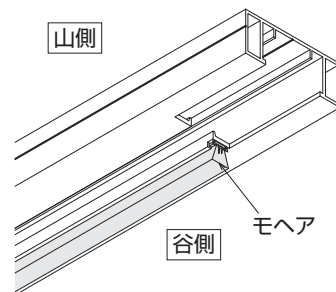
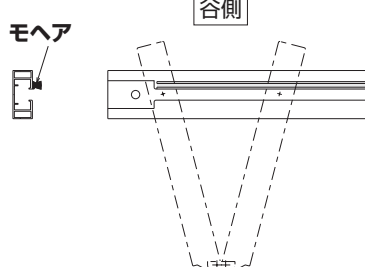
モヘアの付いている方が折れ戸の谷側になります。

〈1折れの場合〉

● R右勝手

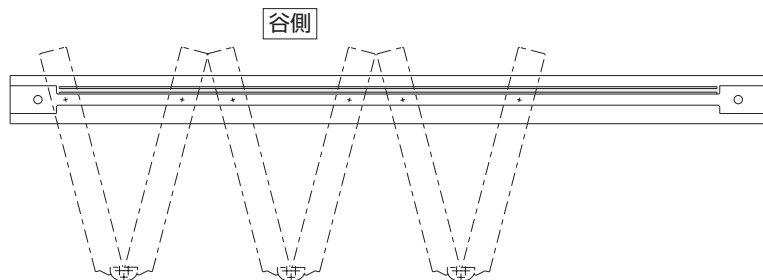


● L左勝手

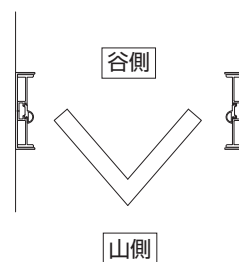


〈2~5折れの場合〉

モヘア

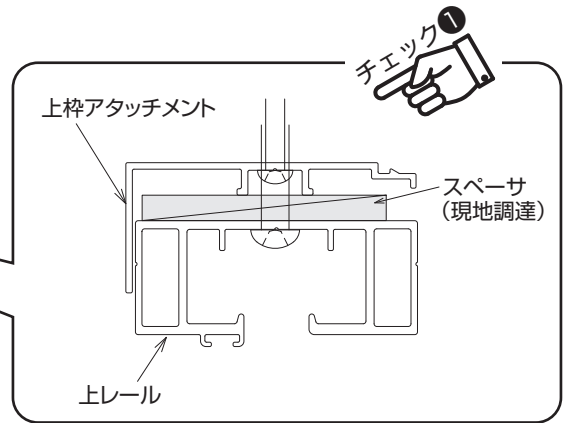
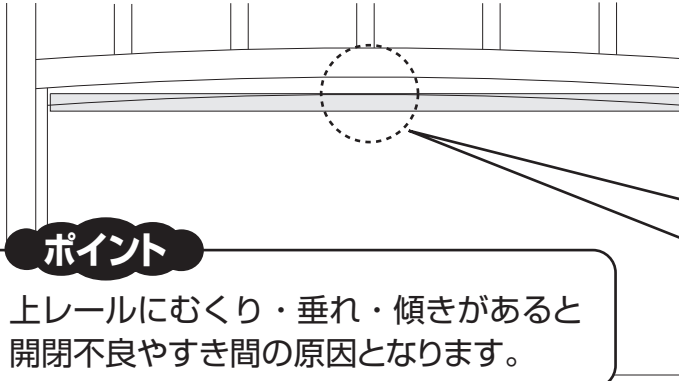


上レールモヘア側



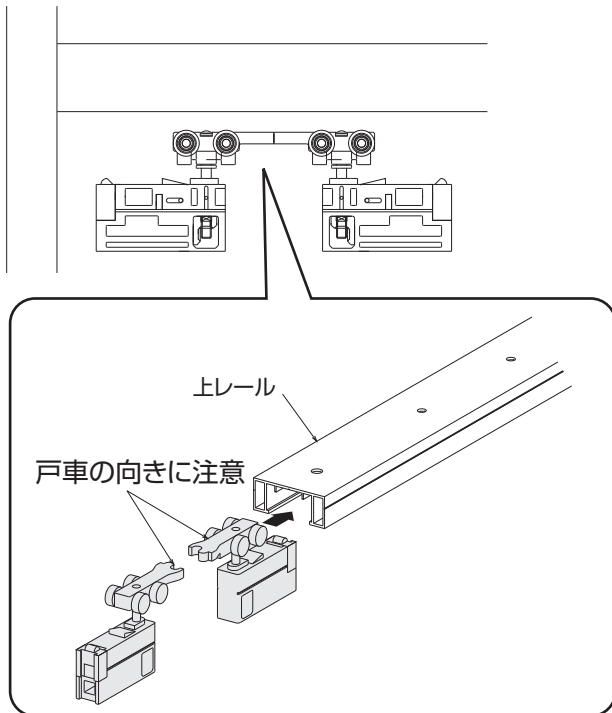
④ すき間がある場合

上レールとアタッチメントにすき間が開いている場合には、その部分にスペーサ(現地調達)を入れ、上レール取付ねじを本締めしてください。

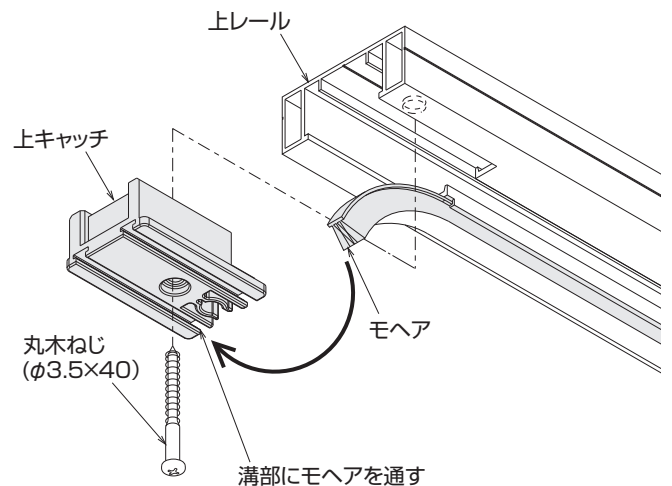


⑤ 吊車・上キャッチの取付

(1) 吊車は2個セットで取付けてください。

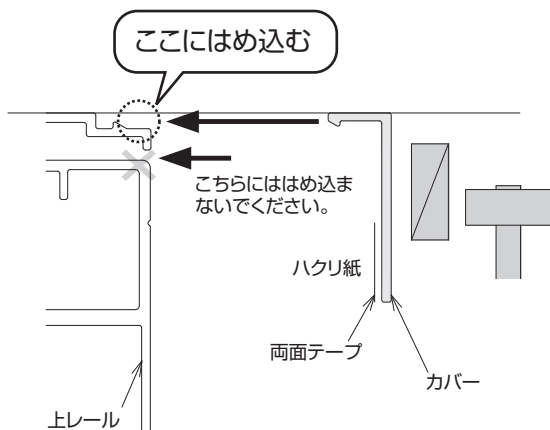


(2) 上キャッチにもモヘアを通し、上レールにはめ込み、中央に寄せてねじで固定してください。



⑥ カバーの取付

カバーのハクリ紙をはがし、アタッチメントにはめ込んで、上レールに押付けてください。



ポイント

- カバーが入りにくい場合は、当て木をしてたたき込んでください。
- 上レール取付け後、レール溝内の清掃を行ってください。ごみがたまっている場合、滑らかな走行の防げとなるおそれがあります。

注意

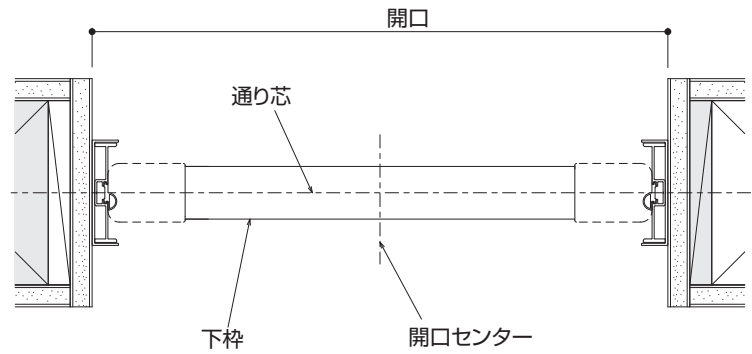
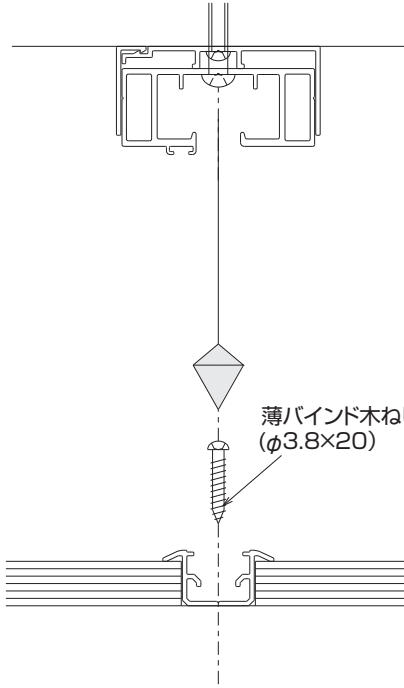
はめ込み口を間違えないでください。はめ込み不足、はめ込み口を間違えた場合、カバーが落下するおそれがあります。

13 下レールの取付

■下レールの取付

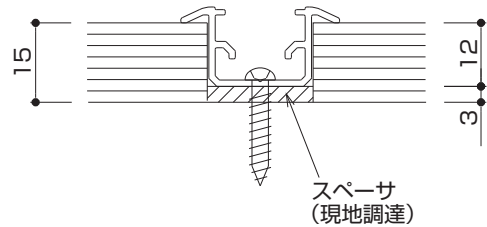
① 下枠の位置決め、取付

下枠を下げ振りを用いて上レールと軸が合うように取付けてください。



ポイント

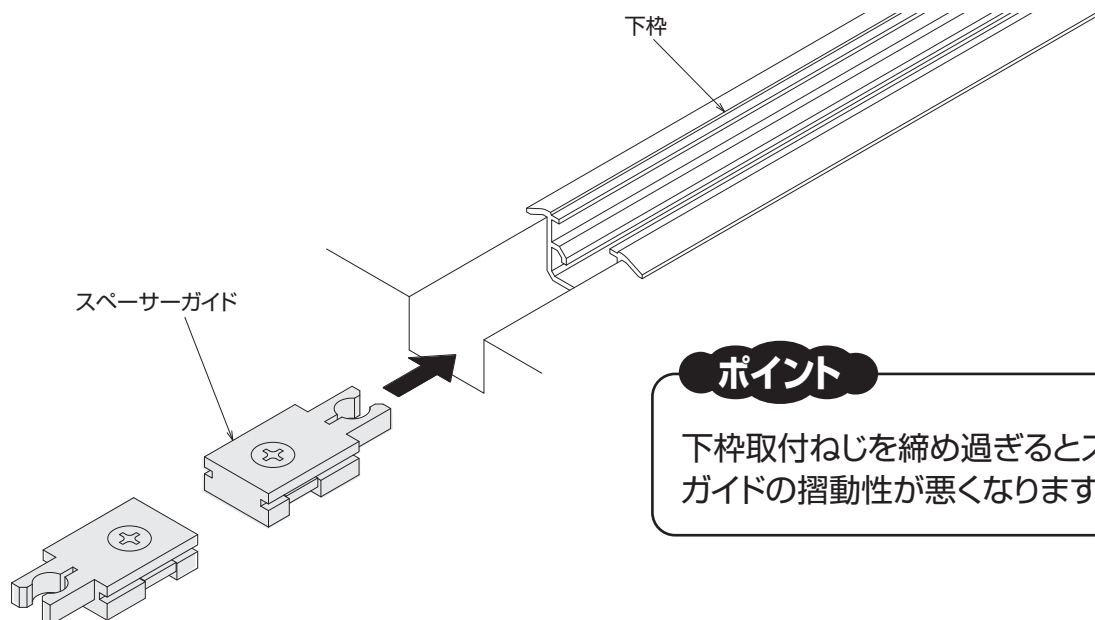
- 床材が15mmの場合は、下枠の下に3mmのスペーサを入れてからねじ止めしてください。



- ねじを締め過ぎると下枠が変形しますので締め過ぎに注意してください。
- 下枠は、均等に割り付けてください。
(両端に下レール端部キャップを取付けますので、取付けスペースの確保が必要です。)

② スペーサーガイドの動作確認

スペーサーガイドを下枠に挿入し、スムーズに動くことを確認ください。

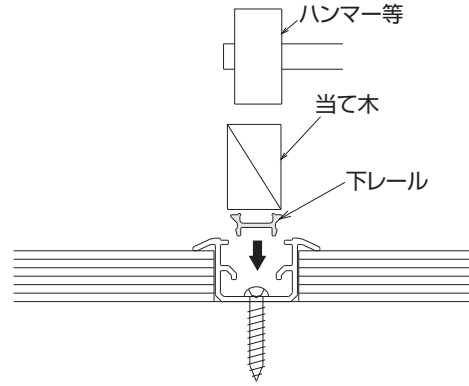


ポイント

- 下枠取付ねじを締め過ぎるとスペーサーガイドの摺動性が悪くなります。

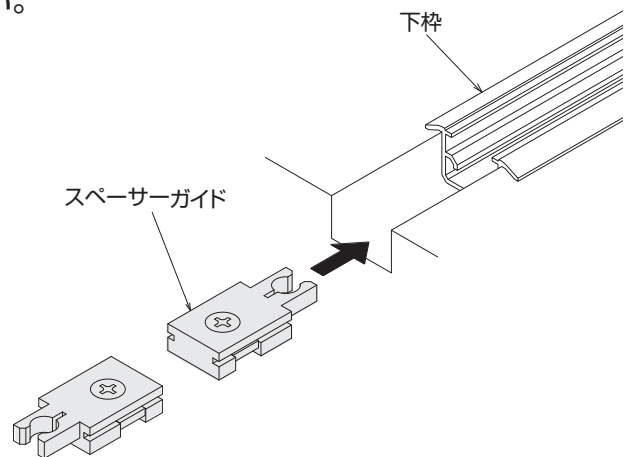
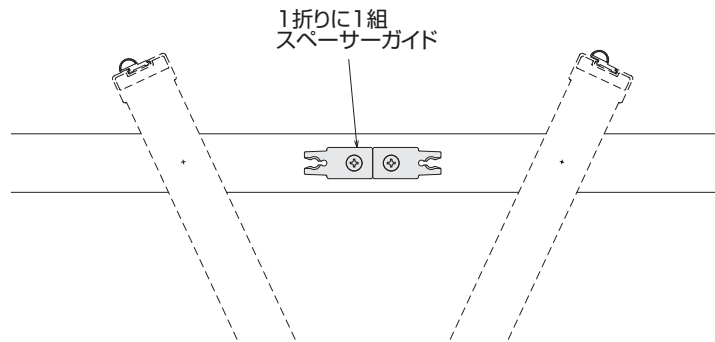
③ 下レールの取付

一旦、スペーサーガイドをはずし、下レールを取付けてください。



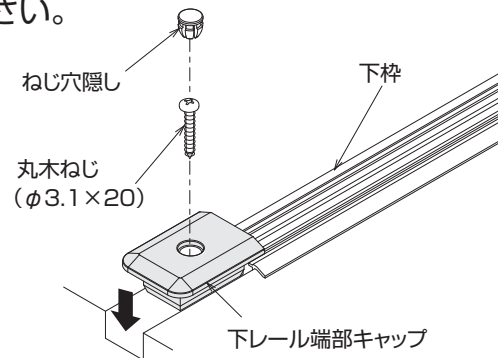
④ スペーサーガイドの取付

図の向きになるよう、下枠の側面より挿入してください。



⑤ 下レール端部キャップの取付

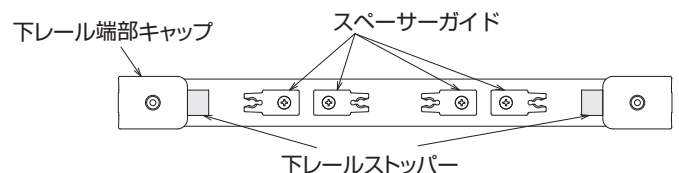
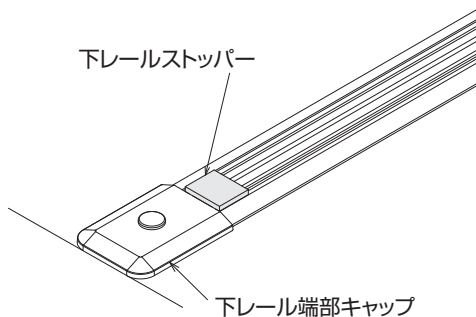
下レール端部キャップはたて枠に寄せて取付けてください。



⑥ 下レールストッパーの取付



- ① 下レール端部キャップに寄せて両側に取付けてください。
- ② 上から叩き込んで、はめ込んでください。



15 折戸本体の吊込み

■折戸本体の吊込み

下図は折戸本体のバリエーションを示します。扉の山側左下部に貼付けてある番号ラベルと対応させ、扉を吊込んでください。

把手の位置、戸先緩衝材の形状に注意して配置を確認してください。

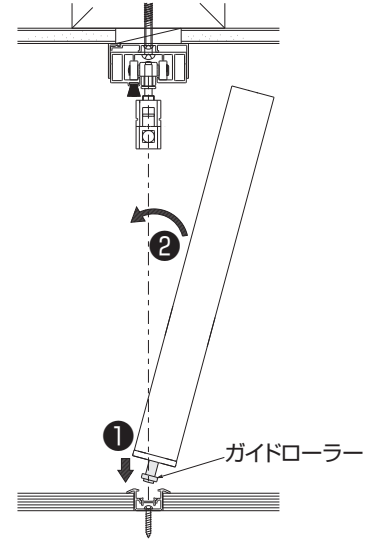
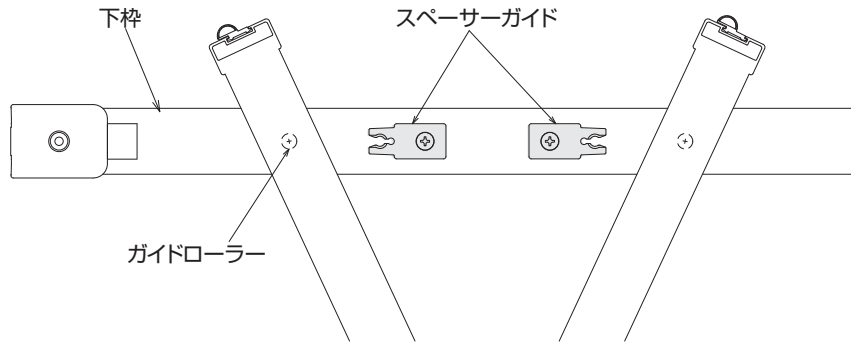


バリエーション一覧

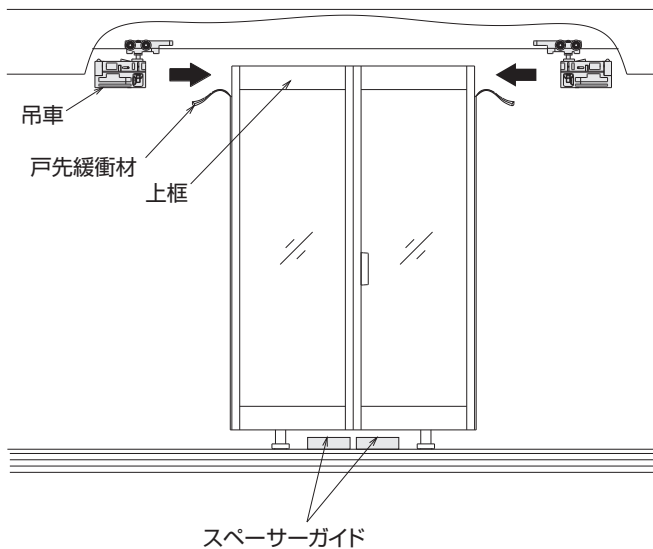
折戸形態	内観姿図	戸先緩衝材形状
1枚折れ		
2枚折れ		
3枚折れ		
4枚折れ		
5枚折れ		

2 吊込み

(1) スペースガイドを図のようにはさみ込むよう、ガイドローラーを下枠の上に置き、折戸本体を立ててください。



(2) 折戸本体上部の戸先緩衝材をめくり、吊車を下図のようにスライドさせ、「カチッ」と音がするまで上框に差込んでください。



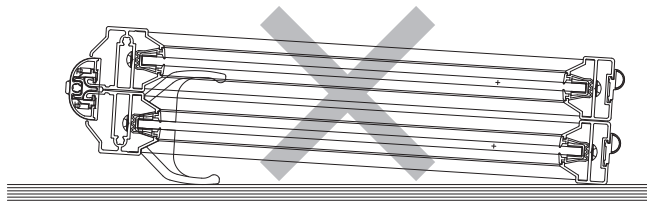
ポイント

吊込み時、折戸(引手)の配置に注意してください。
P.15の「バリエーション一覧」を参照してください。

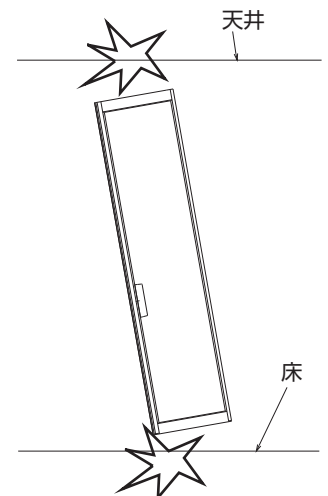
(3) 全ての折戸本体を同じ手順で吊込んでください。どの折戸本体からでも吊込みは可能です。(番号ラベルの位置に吊込んでください。)

お願い

● 把手が下向き状態で商品を平置きしないでください。引手を破損したり、床を傷つけるおそれがあります。



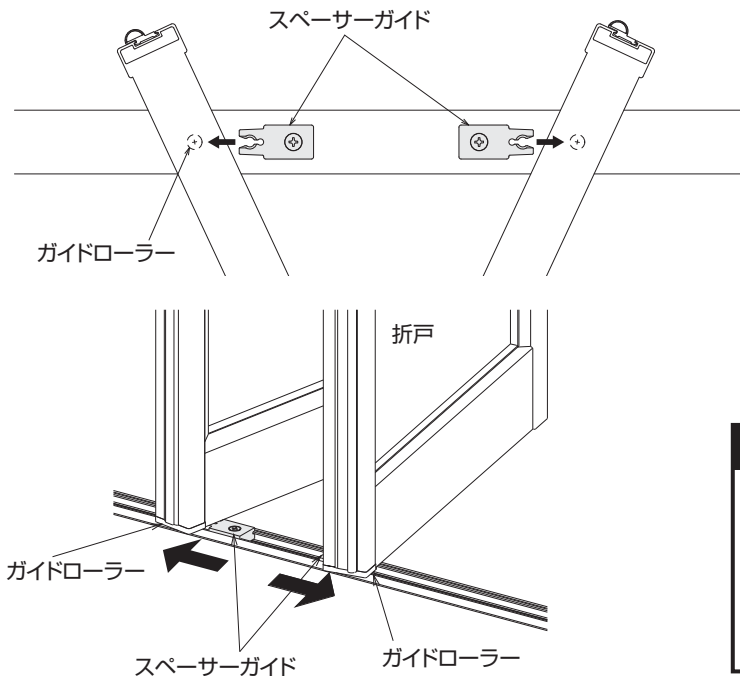
● 施工時に床や天井に折戸をぶつけないようご注意ください。床には必ず養生をして、床や商品に傷がつかないようにご注意ください。



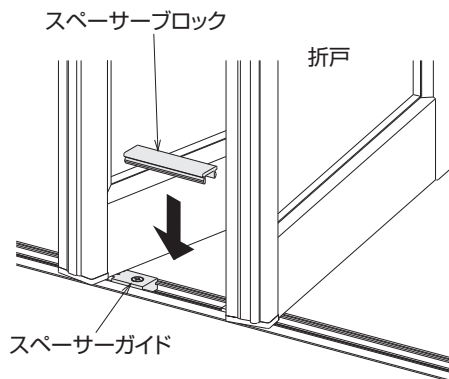
17 折戸本体の吊込み / 折戸本体の調整

③ スペーサーガイドとスペーサーブロックの取付

(1) ガイドローラーにスペーサーガイドをはめ込んでください。



(2) スペーサーガイドの間にスペーサーブロックをはめ込んでください。



お願い

通常の使用時は、必ずスペーサーブロックを取付けた状態で行ってください。スペーサーブロックをはずした状態で摺動させると部品が破損するおそれがあります。

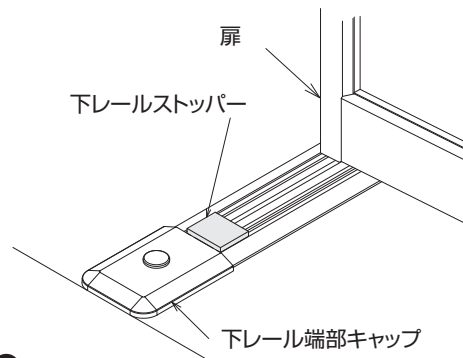
④ 下レールストッパーの確認



下レールストッパーが下レール端部キャップと扉の間にあることを、確認してください。

注意

扉が開閉時に枠に当たる事があります。



■ 折戸本体の調整

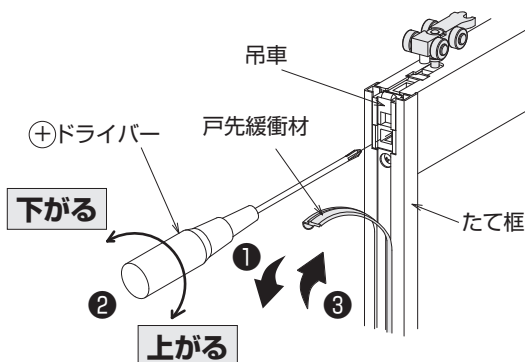
■ 吊車の調整



吊車についているねじを回すことで上下方向の高さを調整することができます。(±5mm)

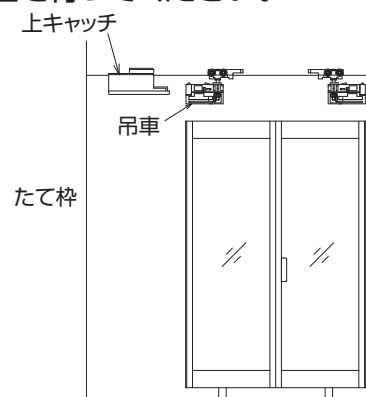
注意

吊車は調整範囲内で調整を行ってください。調整範囲限界で調整ねじが固くなり回しづらくなりますので、それ以上回さないでください。部品が破損し、調整できなくなるおそれがあります。



お願い

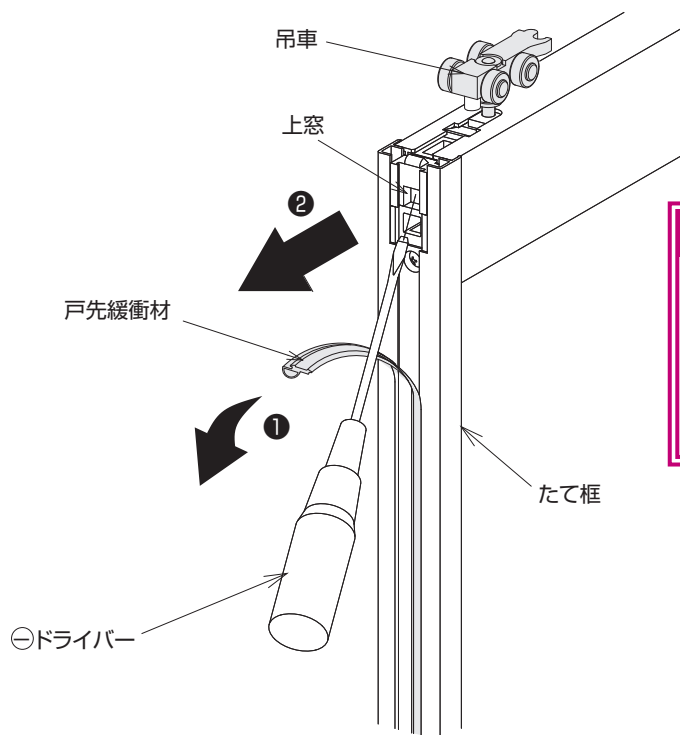
たて枠側の扉は上キャッチから外した状態で調整を行ってください。



■折戸本体の取りはずし

折戸本体をはずす場合、吊込みと逆の手順で取りはずしてください。
フロアに傷がつかないようにダンボール等を敷いてください。

- ① 上部の戸先緩衝材をはずしてください。
- ② 吊車の上窓に⊖ドライバーを掛けて手前に引いてください。

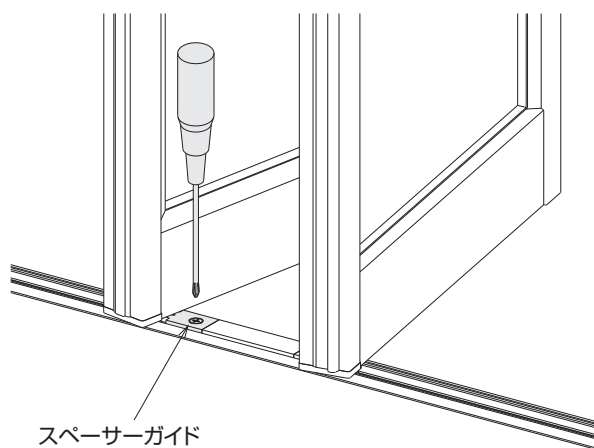


注意

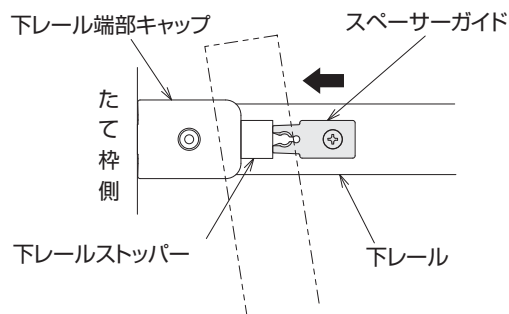
折戸本体をはずす時は、本体をしっかり押えてください。
折戸本体を押さえないで吊車をはずすと折戸が倒れて危険です。

■スペーサーガイドの固定

片側を固定する場合、下図のようにしてください。



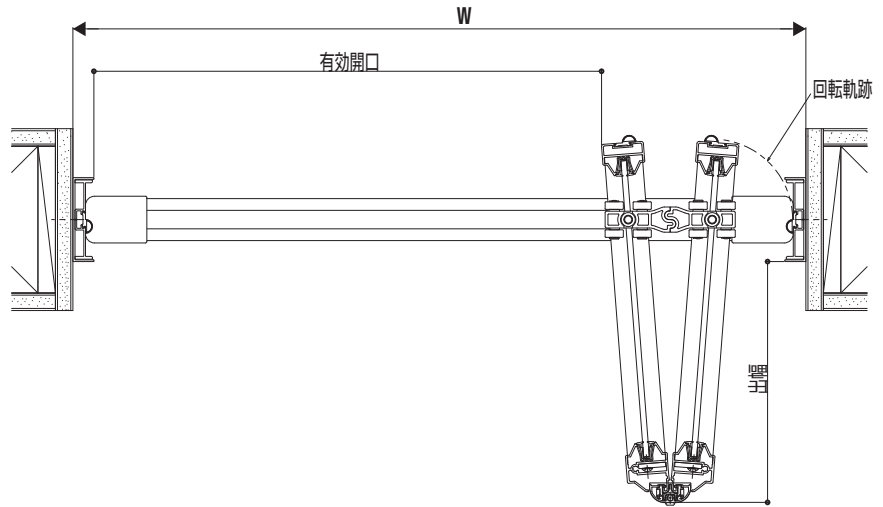
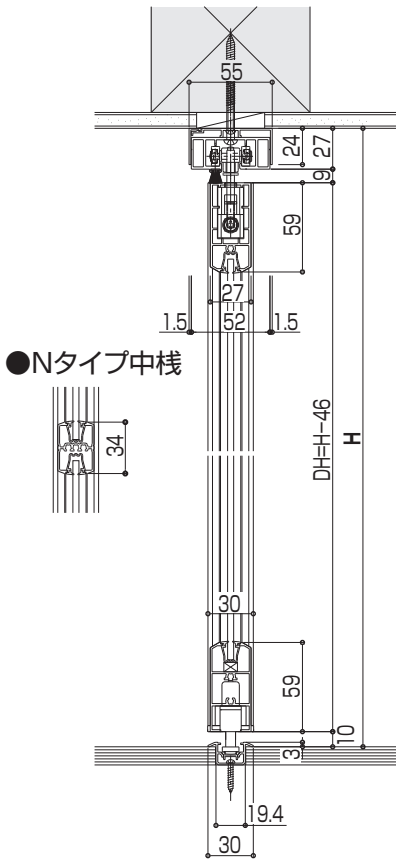
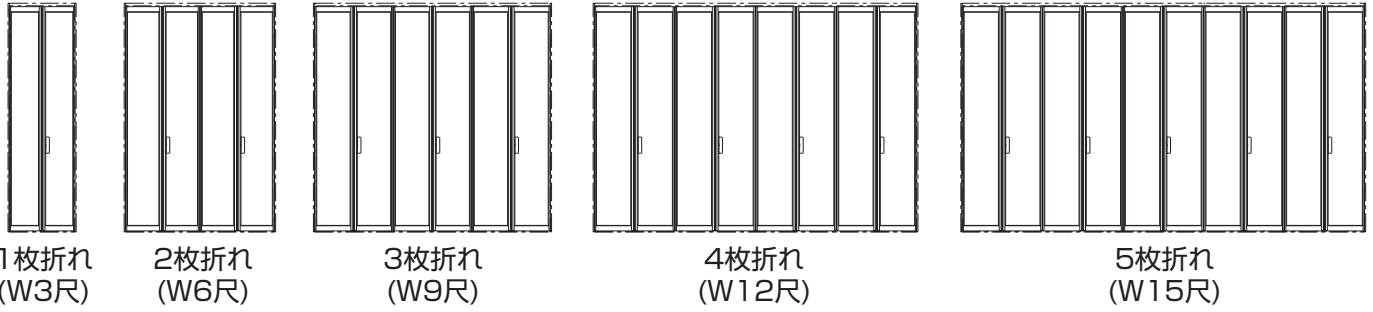
たて枠側は、スペーサーガイドを図のように枠側に寄せて固定してください。



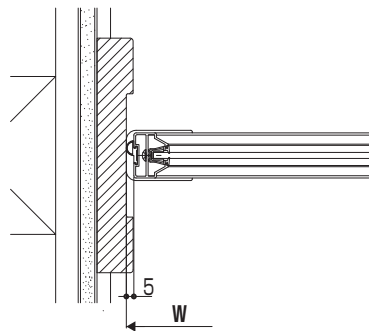
■ 納まり参考図 

■ スクリーンパーティション 折戸タイプ

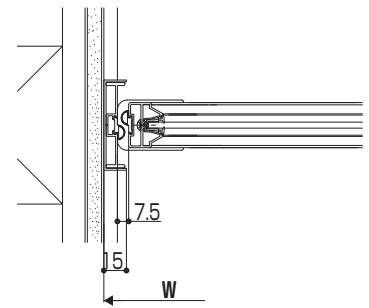
姿図



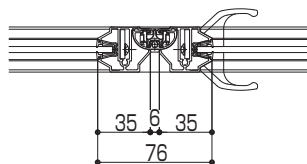
● たて枠なし仕様



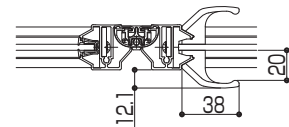
● アルミ四方枠仕様



● 折戸可動部

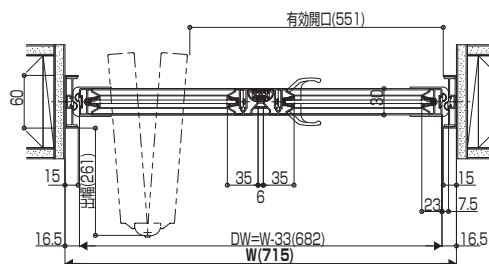


● 引手部詳細

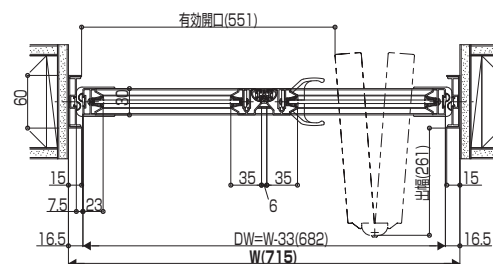


■ 1枚折れ(W3尺アルミ四方枠仕様)の場合

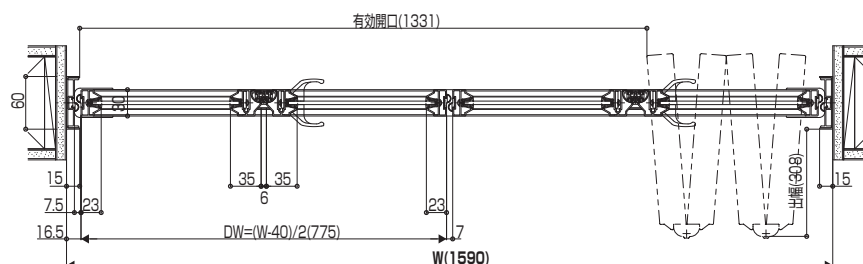
●左勝手



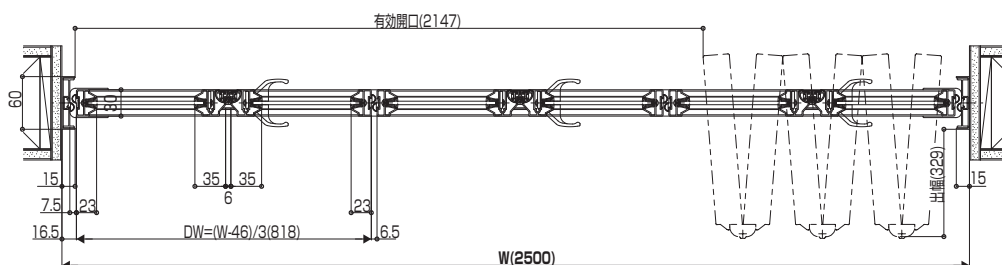
●右勝手



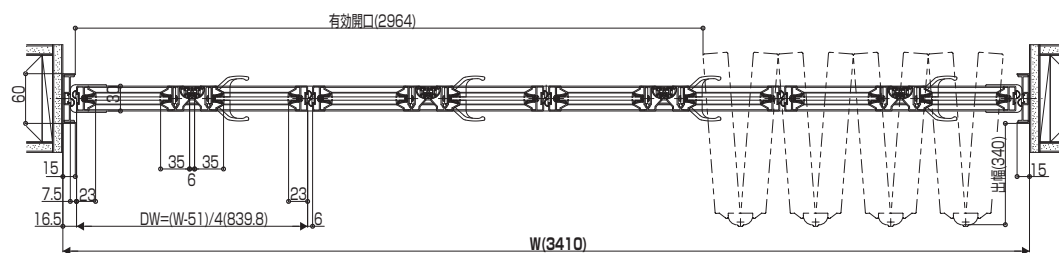
■ 2枚折れ(W6尺アルミ四方枠仕様)の場合



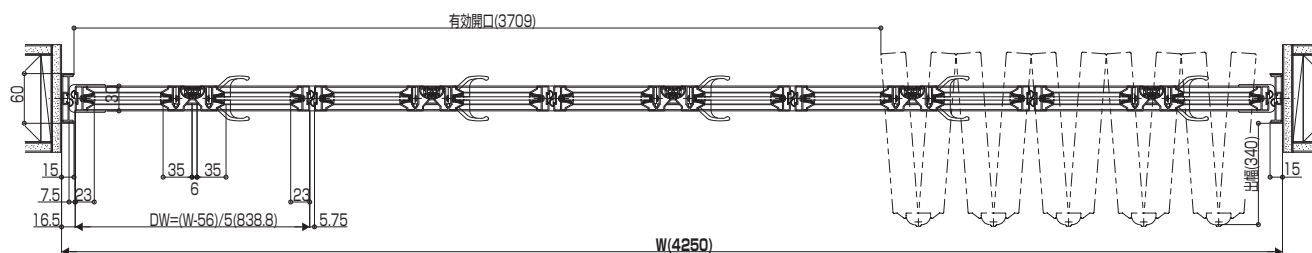
■ 3枚折れ(W9尺アルミ四方枠仕様)の場合



■ 4枚折れ(W12尺アルミ四方枠仕様)の場合



■ 5枚折れ(W15尺アルミ四方枠仕様)の場合



<MEMO>

A series of horizontal dashed lines for writing.

<MEMO>

A series of horizontal dashed lines for writing.

